

平成30年度 大社高等学校 学校評価

重点目標	担当	評価項目 ※「評価」欄の基準は肯定的評価の％：A=80%以上 B=65～79% C=50～64% D=50%未満	生徒評価		保護者評価		教職員評価		自己評価 ※大字=反省点など	改善策	学校関係者評価委員会での意見						
			評価 %	評価	評価 %	評価	評価 %	評価									
《教育目標》 能動的に学ぶ生徒の育成 郷土に思いをいたし、こころ豊かで、たくましく生き抜く実践力のある人材を育成する	①思考力・表現力を育む授業の推進	研究授業・公開授業・授業評価等の実施により、授業の改善とそのための指導法の共有化が図られたか 学習習慣の確立、自ら考え学ぶ意欲を高める授業の充実や改善、授業を通して学んだ知識や技術を活用するような評価方法を工夫することができたか。(2年)	3.1	86	A	3.0	86	A	3.1	80	A	・公開授業を教員研修と位置づけたり、各教科会において授業改善のための協議をし、そのまとめを作成・報告できたりした点はよかった ・授業評価の分析等については十分とは言えなかった ・授業では生徒の活動が充実し、ICT機器活用等により改善が図られた。活用問題の導入やルーブリックの提示により、評価すべき点は明確になった ・家庭学習の習慣づけは不十分であった ・全学級にプロジェクター、実物投影機、スクリーン、ipadが県予算で整備された。特別教室については120周年記念事業で整備	・授業評価の分析結果と、教育課程実践モデル事業の結果のすり合わせが必要 ・本校の授業の成果と課題を整理しておく必要がある ・学習時間調査の結果から、家庭学習の時間や学習する教科に偏りが無い等、問題点を把握して課題の提示の仕方や量を検討する	・図書館の活用について、更に対策を検討するべき。 ・卒業生への追跡調査をやっても良いのでは無いか(大学はやり始めている) ・1年生の地域課題解決学習では生徒の意欲がうかがえた。			
	②授業研究・作問研究の促進		3.5	93					3.0	83	A				・学年会や各分掌とは必要に応じて連携した取り組みができた。教科との連携は不十分であった ・「総合的な学習の時間」のフィールドワークの計画や実施の過程で、地域の方に接し、言葉遣いや礼儀を含めて多くのことを学ばせることができた	・身につかせたいスキルに対して、各教科で取り組む目標を立てる ・取り組んでいる地域課題について、大学生と意見交換ができる機会を持つことができるか検討	・図書館の活用について、更に対策を検討するべき。 ・卒業生への追跡調査をやっても良いのでは無いか(大学はやり始めている) ・1年生の地域課題解決学習では生徒の意欲がうかがえた。
	③学習評価の工夫・改善		3.3	86	A	3.0	85	A	3.1	93	A						
	④ICT環境の充実		3.0	77	B	2.8	70	B	3.0	79	B				・総合学習の時間が使えなくなったため、特に1年生の進路学習の時間を十分にとることができなかった。その分、学年会任せになってしまった ・多いとまでは言えないが、昨年度よりは有期館で自習する生徒は増えた ・高校総体2年連続1位を獲得するなど部活動には全力で取り組み、補習や学習状況を見て概ね受験勉強への切り替えも上手くできた	・HRの時間を活用など、年度当初での進路学習計画を立てて実施。学年会と連携して自習がやりやすい環境づくりなどを行い、さらなる利用者の増加をはかりたい	・「土曜補習や放課後補習の検討」とあるが、働き方改革の方向性もある。自分で学習の仕方を進めていくことが大切である。 ・大学入試改革があり、現2年生は浪人できないというプレッシャーがあると思われるので、対策と支援をお願いしたい。
①探究型!総合的な学習の時間の開発	3.1	82	A	3.0	82	A	2.8	68	B	・新テストに向けて情報収集をすすめることができた。 ・模試の結果を教科に検討してもらった機会を十分に設けられなかった ・進路検討会に3年担任以外の参加が非常に少ない ・模擬結果を全教員が閲覧できず、教科担当との連携が不十分だった ・教育実習生との懇談会など具体的な進路目標を持たせる支援ができた ・進路決定の時期がまちまちのクラスについては、全体指導が難しい	・学年会・各教科に模試分析を行ってもらい、共通理解を図る。土曜・放課後補習両方について生徒の学力向上とどのように結びつけていくのかの検討が必要 ・アンケートを実施して、そのあり方・内容等を検討していく ・模試分析を早い段階で行い、迅速に教科担当へ結果の提供ができるような仕組みを再構築する ・教育研究部との連携を図り、年間を見通した総合的な学習の時間の計画を立て、具体的な進路目標を持たせるきっかけとする	・学校評価の「生徒理解に基づく教育の推進」の項目に生徒と保護者のギャップがある。評価項目によっては否定的な評価を必要とした少数の人数のことを拾い上げる必要があるのではないかと。					
②地域資源の活用	3.3	86	A	3.1	88	A	3.0	83	A				・担任や部活動顧問等と生徒に関する情報を共有し、保護者スクールカウンセラー、医療機関とも連携しながら適切に支援できた ・学年会との連携不足で生徒指導部が前面に立った指導が足りなかった ・携帯電話の校内不正使用33件。1年生で意図的な使用が多く見られた ・全体計画や取組内容を見える化し、全教職員での共通理解を図った ・人権推進委員会を通じいじめ等諸問題に対し組織対応することができた ・今年度はいじめ重大事態等への対応として、いじめに関する教職員研修を実施した。その他の人権問題についての研修は実施しなかった ・他者を思いやる態度については、日常のちょっとした場面でのからかいなどが発生しているが概ね良好である。	・スクールカウンセラー活用において、時間調整を早めにする ・部長等が学年会へ出席し、素早い対応と組織的な指導に努める ・eネットトラブル防止講座を3年生でも実施する	・地域でのボランティア活動にとっても積極的に参加する姿に感心した。		
③課題意識の醸成	3.0	80	A	3.0	80	A	3.0	80	A	・部活動内の人間関係(生徒間・保護者間)トラブルの対応に苦慮した ・ボランティア活動参加者数は延べ58名。保育、教育、地域の行事の手伝い、保護者の世話など多岐にわたった。 ・各部顧問による熱心な指導により、良い成果が挙げられている	・保護者会等を利用して保護者との信頼関係や保護者間のよりよい関係を構築していく ・大社地域のコミセンや出雲市総合ボランティアセンターと連携し、生徒が興味に応じて地域貢献ができるように積極的に情報発信をする ・全国で戦える集団になるためにも、競技面だけでなく生活面での指導にも力を入れた	・「たより」等を通じて校内の様子を知ることができた。 ・「人権尊重」はすべての基本にあることで、学校全体で熱心に取り組んでいる様子がわかり良かった。 ・寮生活について家庭以上の細かな配慮がされており、保護者も安心だろうと感じた。					
④図書館の学習センター的活用	3.3	87	A	3.1	88	A	3.0	83	A				・進路希望調査やスタディサポート、進路検討会を通して、生徒の進路希望や思いを的確に把握し、担任と協力してアドバイスや相談ができる体制を整えていたか 生徒が部活動と学習どちらにも全力で取り組み、部活動終了後の受験勉強への切り替えにつなげる支援ができたか(3年)	・進路指導部 ・進路指導部 ・進路指導部 ・進路指導部	・進路指導部 ・進路指導部 ・進路指導部 ・進路指導部		
①計画性・自律性をもつ生徒の育成	3.3	88	A	3.1	89	A	2.6	63	C	・模擬結果を全教員が閲覧できず、教科担当との連携が不十分だった ・教育実習生との懇談会など具体的な進路目標を持たせる支援ができた ・進路決定の時期がまちまちのクラスについては、全体指導が難しい	・学年会・各教科に模試分析を行ってもらい、共通理解を図る。土曜・放課後補習両方について生徒の学力向上とどのように結びつけていくのかの検討が必要 ・アンケートを実施して、そのあり方・内容等を検討していく ・模試分析を早い段階で行い、迅速に教科担当へ結果の提供ができるような仕組みを再構築する ・教育研究部との連携を図り、年間を見通した総合的な学習の時間の計画を立て、具体的な進路目標を持たせるきっかけとする	・学校評価の「生徒理解に基づく教育の推進」の項目に生徒と保護者のギャップがある。評価項目によっては否定的な評価を必要とした少数の人数のことを拾い上げる必要があるのではないかと。					
②大学入試改革への対応	3.0	80	A	3.0	80	A	3.0	80	A				・担任や部活動顧問等と生徒に関する情報を共有し、保護者スクールカウンセラー、医療機関とも連携しながら適切に支援できた ・学年会との連携不足で生徒指導部が前面に立った指導が足りなかった ・携帯電話の校内不正使用33件。1年生で意図的な使用が多く見られた ・全体計画や取組内容を見える化し、全教職員での共通理解を図った ・人権推進委員会を通じいじめ等諸問題に対し組織対応することができた ・今年度はいじめ重大事態等への対応として、いじめに関する教職員研修を実施した。その他の人権問題についての研修は実施しなかった ・他者を思いやる態度については、日常のちょっとした場面でのからかいなどが発生しているが概ね良好である。	・スクールカウンセラー活用において、時間調整を早めにする ・部長等が学年会へ出席し、素早い対応と組織的な指導に努める ・eネットトラブル防止講座を3年生でも実施する	・地域でのボランティア活動にとっても積極的に参加する姿に感心した。		
③模試結果など各種情報の分析と提供	3.2	86	A	3.1	89	A	3.1	89	A	・部活動やボランティア活動に積極的に取り組めるような指導ができたか 安全かつ健康的に部活動に取り組み、納得のいく結果を残すことができたか	・保護者会等を利用して保護者との信頼関係や保護者間のよりよい関係を構築していく ・大社地域のコミセンや出雲市総合ボランティアセンターと連携し、生徒が興味に応じて地域貢献ができるように積極的に情報発信をする ・全国で戦える集団になるためにも、競技面だけでなく生活面での指導にも力を入れた	・「たより」等を通じて校内の様子を知ることができた。 ・「人権尊重」はすべての基本にあることで、学校全体で熱心に取り組んでいる様子がわかり良かった。 ・寮生活について家庭以上の細かな配慮がされており、保護者も安心だろうと感じた。					
④平日補習や土曜補習の内容充実	3.2	88	A	3.0	85	A	2.9	77	B				・進路希望調査やスタディサポート、進路検討会を通して、生徒の進路希望や思いを的確に把握し、担任と協力してアドバイスや相談ができる体制を整えていたか 生徒が部活動と学習どちらにも全力で取り組み、部活動終了後の受験勉強への切り替えにつなげる支援ができたか(3年)	・進路指導部 ・進路指導部 ・進路指導部 ・進路指導部	・進路指導部 ・進路指導部 ・進路指導部 ・進路指導部		
①生徒理解に基づく教育の促進	3.1	83	A	3.0	86	A	3.4	100	A	・総会・評議員会へは例年以上の参加者があったが教育研修会は少なかった ・『学校案内』とホームページを約10年ぶりに改訂でき概ね好評だったが、2学期以降の更新が遅れたこと等の指摘が保護者からあった ・7月末のオープンスクールに参加できなかった中学3年生にフォー(説明会、補習・部活動見学等)を実施し、在校生の協力を得て好評だった ・入学者選抜募集要項の推薦基準(出願資格)を再度検討する必要あり ・学校説明会の資料(パワーポイント資料)の更新が十分でなかった ・大社高校セミナーは各教科の協力で無事に実施することができた	・学年PTA(は年2回)とし、学年会等と連携して内容を充実させる ・部活動・学年会・他の分掌等の協力で、こまめなHP更新を実現する ・オープンスクールのように、在校生と中学生が交流できる機会を増やす ・中高連絡会で出願資格の周知方法と募集要項の文言の検討を行う。 ・パワーポイント資料は刷新をする ・セミナーの来年度実施の可否は要検討	・寮生活について家庭以上の細かな配慮がされており、保護者も安心だろうと感じた。					
②互いの人権を尊重する学校づくり	3.2	86	A	3.1	89	A	3.1	87	A				・部活動やボランティア活動に積極的に取り組めるような指導ができたか 安全かつ健康的に部活動に取り組み、納得のいく結果を残すことができたか	・保護者会等を利用して保護者との信頼関係や保護者間のよりよい関係を構築していく ・大社地域のコミセンや出雲市総合ボランティアセンターと連携し、生徒が興味に応じて地域貢献ができるように積極的に情報発信をする ・全国で戦える集団になるためにも、競技面だけでなく生活面での指導にも力を入れた	・「たより」等を通じて校内の様子を知ることができた。 ・「人権尊重」はすべての基本にあることで、学校全体で熱心に取り組んでいる様子がわかり良かった。 ・寮生活について家庭以上の細かな配慮がされており、保護者も安心だろうと感じた。		
③人格形成の場としての部活動の推進	3.2	88	A	3.0	85	A	2.9	77	B	・総会・評議員会へは例年以上の参加者があったが教育研修会は少なかった ・『学校案内』とホームページを約10年ぶりに改訂でき概ね好評だったが、2学期以降の更新が遅れたこと等の指摘が保護者からあった ・7月末のオープンスクールに参加できなかった中学3年生にフォー(説明会、補習・部活動見学等)を実施し、在校生の協力を得て好評だった ・入学者選抜募集要項の推薦基準(出願資格)を再度検討する必要あり ・学校説明会の資料(パワーポイント資料)の更新が十分でなかった ・大社高校セミナーは各教科の協力で無事に実施することができた	・学年PTA(は年2回)とし、学年会等と連携して内容を充実させる ・部活動・学年会・他の分掌等の協力で、こまめなHP更新を実現する ・オープンスクールのように、在校生と中学生が交流できる機会を増やす ・中高連絡会で出願資格の周知方法と募集要項の文言の検討を行う。 ・パワーポイント資料は刷新をする ・セミナーの来年度実施の可否は要検討	・寮生活について家庭以上の細かな配慮がされており、保護者も安心だろうと感じた。					
①地域や小中学校への情報発信と連携	3.2	84	A	2.9	80	A	3.0	79	B				・いじめの認知・未然防止・組織的な対応等にかかわる教職員研修会を通して、教職員の意識は高まった ・避難訓練は2回とも雨で校庭への避難や消火訓練ができなかった。防災教育の中に原子力防災を追加。生徒や保護者への緊急連絡メールは改善すべき点もあった ・掃除場所により生徒の取組みに差があり、不十分な箇所を改善を行った ・安全点検を実施し、事務室が整備対応した。生徒環境委員会で掃除用具の点検・補充、清掃中の見回り、ゴミ分別と持ち帰りのチェックを行った	・交通安全委員会による交通安全標語等による呼びかけをする ・人権・同和教育部と連携していじめに係わるHRを展開する ・ふれあい委員会を中心とした生徒主体のいじめをしない・させない学校環境作りのための活動を行う	・「危機管理マニュアル」の改訂、「避難所運営マニュアル」の作成 ・素早く確実に生徒や保護者への緊急連絡メールが届くような改善。		
②安全で安心して過ごせる学校や寮運営	3.2	83	A	2.9	80	A	2.9	79	B	・いじめによって一時期学校に来られない生徒がいたが、正副担任、生徒指導部、部活動顧問、学年会等で連携して対応した ・大山宿泊研修は全体を考慮して行動するという集団づくりに有意義だった ・共に成長できる集団作りへの支援は概ねできたが、他者への配慮を欠いた言動もみられた。面談やアンケートQ.Uの結果も活用出来た。学年会や育成委員会、保護者との面談等で配慮を必要とする生徒の情報を共有し、対応を協議することができた ・HR活動や講演会などを通してお互いを認め合う大切さは理解しているが、理解していても不用意な発言をしたり、適切な言動ができなかったりした場面があり、残念であった ・アンケート結果は例年以上に良好で、比較的良好な寮生活をしている。生徒に役割を持たせる指導、「一人一日一奉仕活動」の成果が現れている。 ・アンケート結果からも自己管理の徹底の必要性を感じた	・日頃から生徒の言動に共通理解を持ち、早期発見に努める。 ・アンケートQ.Uの有効活用と生徒面談の充実。携帯電話使用、交通マナー等について、規則の周知徹底。 ・アンケート結果から、学年全体で指導すべき点は、早急に学年集会を開いて生徒全員に対して指導する。学年会や保健部、生徒指導部などの関係機関や保護者との連携を密にして、配慮を必要とする生徒の組織的な対応を実践する。	・寮生活について家庭以上の細かな配慮がされており、保護者も安心だろうと感じた。					
③創立120周年記念事業の円滑な運営	3.0	83	A	3.0	83	A	3.0	83	A				・学年PTA(は年2回)とし、学年会等と連携して内容を充実させる ・部活動・学年会・他の分掌等の協力で、こまめなHP更新を実現する ・オープンスクールのように、在校生と中学生が交流できる機会を増やす ・中高連絡会で出願資格の周知方法と募集要項の文言の検討を行う。 ・パワーポイント資料は刷新をする ・セミナーの来年度実施の可否は要検討	・交通安全委員会による交通安全標語等による呼びかけをする ・人権・同和教育部と連携していじめに係わるHRを展開する ・ふれあい委員会を中心とした生徒主体のいじめをしない・させない学校環境作りのための活動を行う	・「危機管理マニュアル」の改訂、「避難所運営マニュアル」の作成 ・素早く確実に生徒や保護者への緊急連絡メールが届くような改善。		
④創立120周年記念事業の円滑な運営	3.2	92	A	3.2	92	A	3.2	92	A	・学年PTA(は年2回)とし、学年会等と連携して内容を充実させる ・部活動・学年会・他の分掌等の協力で、こまめなHP更新を実現する ・オープンスクールのように、在校生と中学生が交流できる機会を増やす ・中高連絡会で出願資格の周知方法と募集要項の文言の検討を行う。 ・パワーポイント資料は刷新をする ・セミナーの来年度実施の可否は要検討	・交通安全委員会による交通安全標語等による呼びかけをする ・人権・同和教育部と連携していじめに係わるHRを展開する ・ふれあい委員会を中心とした生徒主体のいじめをしない・させない学校環境作りのための活動を行う	・「危機管理マニュアル」の改訂、「避難所運営マニュアル」の作成 ・素早く確実に生徒や保護者への緊急連絡メールが届くような改善。					
③創立120周年記念事業の円滑な運営	3.2	92	A	3.2	92	A	3.2	92	A				・学年PTA(は年2回)とし、学年会等と連携して内容を充実させる ・部活動・学年会・他の分掌等の協力で、こまめなHP更新を実現する ・オープンスクールのように、在校生と中学生が交流できる機会を増やす ・中高連絡会で出願資格の周知方法と募集要項の文言の検討を行う。 ・パワーポイント資料は刷新をする ・セミナーの来年度実施の可否は要検討	・交通安全委員会による交通安全標語等による呼びかけをする ・人権・同和教育部と連携していじめに係わるHRを展開する ・ふれあい委員会を中心とした生徒主体のいじめをしない・させない学校環境作りのための活動を行う	・「危機管理マニュアル」の改訂、「避難所運営マニュアル」の作成 ・素早く確実に生徒や保護者への緊急連絡メールが届くような改善。		
④創立120周年記念事業の円滑な運営	3.2	92	A	3.2	92	A	3.2	92	A	・学年PTA(は年2回)とし、学年会等と連携して内容を充実させる ・部活動・学年会・他の分掌等の協力で、こまめなHP更新を実現する ・オープンスクールのように、在校生と中学生が交流できる機会を増やす ・中高連絡会で出願資格の周知方法と募集要項の文言の検討を行う。 ・パワーポイント資料は刷新をする ・セミナーの来年度実施の可否は要検討	・交通安全委員会による交通安全標語等による呼びかけをする ・人権・同和教育部と連携していじめに係わるHRを展開する ・ふれあい委員会を中心とした生徒主体のいじめをしない・させない学校環境作りのための活動を行う	・「危機管理マニュアル」の改訂、「避難所運営マニュアル」の作成 ・素早く確実に生徒や保護者への緊急連絡メールが届くような改善。					
④創立120周年記念事業の円滑な運営	3.2	92	A	3.2	92	A	3.2	92	A				・学年PTA(は年2回)とし、学年会等と連携して内容を充実させる ・部活動・学年会・他の分掌等の協力で、こまめなHP更新を実現する ・オープンスクールのように、在校生と中学生が交流できる機会を増やす ・中高連絡会で出願資格の周知方法と募集要項の文言の検討を行う。 ・パワーポイント資料は刷新をする ・セミナーの来年度実施の可否は要検討	・交通安全委員会による交通安全標語等による呼びかけをする ・人権・同和教育部と連携していじめに係わるHRを展開する ・ふれあい委員会を中心とした生徒主体のいじめをしない・させない学校環境作りのための活動を行う	・「危機管理マニュアル」の改訂、「避難所運営マニュアル」の作成 ・素早く確実に生徒や保護者への緊急連絡メールが届くような改善。		
④創立120周年記念事業の円滑な運営	3.2	92	A	3.2	92	A	3.2	92	A	・学年PTA(は年2回)とし、学年会等と連携して内容を充実させる ・部活動・学年会・他の分掌等の協力で、こまめなHP更新を実現する ・オープンスクールのように、在校生と中学生が交流できる機会を増やす ・中高連絡会で出願資格の周知方法と募集要項の文言の検討を行う。 ・パワーポイント資料は刷新をする ・セミナーの来年度実施の可否は要検討	・交通安全委員会による交通安全標語等による呼びかけをする ・人権・同和教育部と連携していじめに係わるHRを展開する ・ふれあい委員会を中心とした生徒主体のいじめをしない・させない学校環境作りのための活動を行う	・「危機管理マニュアル」の改訂、「避難所運営マニュアル」の作成 ・素早く確実に生徒や保護者への緊急連絡メールが届くような改善。					
④創立120周年記念事業の円滑な運営	3.2	92	A	3.2	92	A	3.2	92	A				・学年PTA(は年2回)とし、学年会等と連携して内容を充実させる ・部活動・学年会・他の分掌等の協力で、こまめなHP更新を実現する ・オープンスクールのように、在校生と中学生が交流できる機会を増やす ・中高連絡会で出願資格の周知方法と募集要項の文言の検討を行う。 ・パワーポイント資料は刷新をする ・セミナーの来年度実施の可否は要検討	・交通安全委員会による交通安全標語等による呼びかけをする ・人権・同和教育部と連携していじめに係わるHRを展開する ・ふれあい委員会を中心とした生徒主体のいじめをしない・させない学校環境作りのための活動を行う	・「危機管理マニュアル」の改訂、「避難所運営マニュアル」の作成 ・素早く確実に生徒や保護者への緊急連絡メールが届くような改善。		
④創立120周年記念事業の円滑な運営	3.2	92	A	3.2	92	A	3.2	92	A	・学年PTA(は年2回)とし、学年会等と連携して内容を充実させる ・部活動・学年会・他の分掌等の協力で、こまめなHP更新を実現する ・オープンスクールのように、在校生と中学生が交流できる機会を増やす ・中高連絡会で出願資格の周知方法と募集要項の文言の検討を行う。 ・パワーポイント資料は刷新をする ・セミナーの来年度実施の可否は要検討	・交通安全委員会による交通安全標語等による呼びかけをする ・人権・同和教育部と連携していじめに係わるHRを展開する ・ふれあい委員会を中心とした生徒主体のいじめをしない・させない学校環境作りのための活動を行う	・「危機管理マニュアル」の改訂、「避難所運営マニュアル」の作成 ・素早く確実に生徒や保護者への緊急連絡メールが届くような改善。					
④創立120周年記念事業の円滑な運営	3.2	92	A	3.2	92	A	3.2	92	A				・学年PTA(は年2回)とし、学年会等と連携して内容を充実させる ・部活動・学年会・他の分掌等の協力で、こまめなHP更新を実現する ・オープンスクールのように、在校生と中学生が交流できる機会を増やす ・中高連絡会で出願資格の周知方法と募集要項の文言の検討を行う。 ・パワーポイント資料は刷新をする ・セミナーの来年度実施の可否は要検討	・交通安全委員会による交通安全標語等による呼びかけをする ・人権・同和教育部と連携していじめに係わるHRを展開する ・ふれあい委員会を中心とした生徒主体のいじめをしない・させない学校環境作りのための活動を行う	・「危機管理マニュアル」の改訂、「避難所運営マニュアル」の作成 ・素早く確実に生徒や保護者への緊急連絡メールが届くような改善。		
④創立120周年記念事業の円滑な運営	3.2	92	A	3.2	92	A	3.2	92	A	・学年PTA(は年2回)とし、学年会等と連携して内容を充実させる ・部活動・学年会・他の分掌等の協力で、こまめなHP更新を実現する ・オープンスクールのように、在校生と中学生が交流できる機会を増やす ・中高連絡会で出願資格の周知方法と募集要項の文言の検討を行う。 ・パワーポイント資料は刷新をする ・セミナーの来年度実施の可否は要検討	・交通安全委員会による交通安全標語等による呼びかけをする ・人権・同和教育部と連携していじめに係わるHRを展開する ・ふれあい委員会を中心とした生徒主体のいじめをしない・させない学校環境作りのための活動を行う	・「危機管理マニュアル」の改訂、「避難所運営マニュアル」の作成 ・素早く確実に生徒や保護者への緊急連絡メールが届くような改善。					
④創立120周年記念事業の円滑な運営	3.2	92	A	3.2	92	A	3.2	92	A				・学年PTA(は年2回)とし、学年会等と連携して内容を充実させる ・部活動・学年会・他の分掌等の協力で、こまめなHP更新を実現する ・オープンスクールのように、在校生と中学生が交流できる機会を増やす ・中高連絡会で出願資格の周知方法と募集要項の文言の検討を行う。 ・パワーポイント資料は刷新をする ・セミナーの来年度実施の可否は要検討	・交通安全委員会による交通安全標語等による呼びかけをする ・人権・同和教育部と連携していじめに係わるHRを展開する ・ふれあい委員会を中心とした生徒主体のいじめをしない・させない学校環境作りのための活動を行う	・「危機管理マニュアル」の改訂、「避難所運営マニュアル」の作成 ・素早く確実に生徒や保護者への緊急連絡メールが届くような改善。		
④創立120周年記念事業の円滑な運営	3.2	92	A	3.2	92	A	3.2	92	A	・学年PTA(は年2回)とし、学年会等と連携して内容を充実させる ・部活動・学年会・他の分掌等の協力で、こまめなHP更新を実現する ・オープンスクールのように、在校生と中学生が交流できる機会を増やす ・中高連絡会で出願資格の周知方法と募集要項の文言の検討を行う。 ・パワーポイント資料は刷新をする ・セミナーの来年度実施の可否は要検討	・交通安全委員会による交通安全標語等による呼びかけをする ・人権・同和教育部と連携していじめに係わるHRを展開する ・ふれあい委員会を中心とした生徒主体のいじめをしない・させない学校環境作りのための活動を行う	・「危機管理マニュアル」の改訂、「避難所運営マニュアル」の作成 ・素早く確実に生徒や保護者への緊急連絡メールが届くような改善。					
④創立120周年記念事業の円滑な運営	3.2	92	A	3.2	92	A	3.2	92	A				・学年PTA(は年2回)とし、学年会等と連携して内容を充実させる ・部活動・学年会・他の分掌等の協力で、こまめなHP更新を実現する ・オープンスクールのように、在校生と中学生が交流できる機会を増やす ・中高連絡会で出願資格の周知方法と募集要項の文言の検討を行う。 ・パワーポイント資料は刷新をする ・セミナーの来年度実施の可否は要検討	・交通安全委員会による交通安全標語等による呼びかけをする ・人権・同和教育部と連携していじめに係わるHRを展開する ・ふれあい委員会を中心とした生徒主体のいじめをしない・させない学校環境作りのための活動を行う	・「危機管理マニュアル」の改訂、「避難所運営マニュアル」の作成 ・素早く確実に生徒や保護者への緊急連絡メールが届くような改善。		
④創立120周年記念事業の円滑な運営	3.2	92	A	3.2	92	A	3.2	92	A	・学年PTA(は年2回)とし、学年会等と連携して内容を充実させる ・部活動・学年会・他の分掌等の協力で、こまめなHP更新を実現する ・オープンスクールのように、在校生と中学生が交流できる機会を増やす ・中高連絡会で出願資格の周知方法と募集要項の文言の検討を行う。 ・パワーポイント資料は刷新をする ・セミナーの来年度実施の可否は要検討	・交通安全委員会による交通安全標語等による呼びかけをする ・人権・同和教育部と連携していじめに係わるHRを展開する ・ふれあい委員会を中心とした生徒主体のいじめをしない・させない学校環境作りのための活動を行う	・「危機管理マニュアル」の改訂、「避難所運営マニュアル」の作成 ・素早く確実に生徒や保護者への緊急連絡メールが届くような改善。					
④創立120周年記念事業の円滑な運営	3.2	92	A	3.2	92	A	3.2	92	A				・学年PTA(は年2回)とし、学年会等と連携して内容を充実させる ・部活動・学年会・他の分掌等の協力で、こまめなHP更新を実現する ・オープンスクールのように、在校生と中学生が交流できる機会を増やす ・中高連絡会で出願資格の周知方法と募集要項の文言の検討を行う。 ・パワーポイント資料は刷新をする ・セミナーの来年度実施の可否は要検討	・交通安全委員会による交通安全標語等による呼びかけをする ・人権・同和教育部と連携していじめに係わるHRを展開する ・ふれあい委員会を中心とした生徒主体のいじめをしない・させない学校環境作りのための活動を行う	・「危機管理マニュアル」の改訂、「避難所運営マニュアル」の作成 ・素早く確実に生徒や保護者への緊急連絡メールが届くような改善。		
④創立120周年記念事業の円滑な運営	3.2	92	A	3.2	92	A	3.2	92	A	・学年PTA(は年2回)とし、学年会等と連携して内容を充実させる ・部活動・学年会・他の分掌等の協力で、こまめなHP更新を実現する ・オープンスクールのように、在校生と中学生が交流できる機会を増やす ・中高連絡会で出願資格の周知方法と募集要項の文言の検討を行う。 ・パワーポイント資料は刷新をする ・セミナーの来年度実施の可否は要検討	・交通安全委員会による交通安全標語等による呼びかけをする ・人権・同和教育部と連携していじめに係わるHRを展開する ・ふれあい委員会を中心とした生徒主体のいじめをしない・させない学校環境作りのための活動を行う	・「危機管理マニュアル」の改訂、「避難所運営マニュアル」の作成 ・素早く確実に生徒や保護者への緊急連絡メールが届くような改善。					
④創立120周年記念事業の円滑な運営	3.2	92	A	3.2	92	A	3.2	92	A				・学年PTA(は年2回)とし、学年会等と連携して内容を充実させる ・部活動・学年会・他の分掌等の協力で、こまめなHP更新を実現する ・オープンスクールのように、在校生と中学生が交流できる機会を増やす ・中高連絡会で出願資格の周知方法と募集要項の文言の検討を行う。 ・パワーポイント資料は刷新をする ・セミナーの来年度実施の可否				